

どのように使われるのか

各常任委員会報告

総務文教常任委員会

委員長 古閑 修一

総務課

一般会計予算は、前年度に比較して6億9,049万円増の58億3,036万6千円。地方交付税、特別交付税合わせて30億4,000万円（前年比3億3,000万円増）町税7億6,573万9千円（前年比7,180万4千円減）。主な事業として、地上デジタル放送共聴施設整備事業3,464万円、ふれあいの森整備（緊急雇用対策事業）1,128万7千円、行政評価システム構築業務委託費317万6千円。交通安全対策費 カブミラー、ガードレール設置費235万円。

教育委員会

学校統合事業費4,782万3千円（主なものとして、開校準備委員会に関わる費用と菊水、三加和地区土地購入費の3,977万9千円）。報償費として、放課後子ども教室121万8千円、いきいき選択学習48万円、生涯学習推進大会講師謝礼40万円。文化財保護費977万5千円（田中城陣跡調査費100万円、文化財案内板設置費、3ヶ所で59万円）。

税務住民課

町税歳入は個人分2億3,570万円（前年比3,616万7千円減）、法人分3,080万7千円（前年比2,110万1千円減）、固定資産

厚生常任委員会

委員長 小山 暁

平成23年度の健康福祉課一般会計の当初予算総額は22億1,396万2千円で対前年度比で7,166万5千円増となっている。

歳入の主なものは、子ども手当負担金

として、国庫補助金1億4,719万円と同じく子ども手当負担金として県支出金2,006万円更に障害者自立支援介護等給付費負担金として国庫支出金9,018万円と同じく県支出金4,509万円、その他県支出金として新型インフルエンザワクチン予防接種事業補助金222万6千円と子宮頸ガン等ワクチン接種緊急促進事業補助金716万1千円等が計上されている。ただしヒブワクチン接種事業については、現在全国で6例の死亡事故が発生しているため国からの通達があるまでは当分見合わせる事になっている。

歳出面では、**公立**

保育園関係の予算総額は6,089万2千円で、今年度の申請数は、定員60名に對して59名となっており、園児数はほぼ横ばい状態が続いている。

保健予防事業

関係では、病院事業会計繰出金2億2,494万5千円、セット健診委託料1,316万1千円と選択健診委託料1,555万6千円。

母子健康事業関係

では、乳幼児健診委託料145万8千円と妊婦健診委託料778万6千円が計上されている。現在町では、健康増進事業の推進とともに町民の健康受診率向上めざして、計画が進められているが、国の受診率の目標値65%に対し、和水町の平

建設経済常任委員会

委員長 荒木 政士

経済課

◎農業委員会関係では、農家台帳システム導入により前年比1,100万円の増額になっている。

◎農業振興費では、農業振興補助金5,968千円、新規就農者対策助成金60万円（3名分）遊休農地活用イエロープロジェクト事業130万円の他補助金等は例年どおりの計上、農業振興のためには、担い手育成対策等の取り組みに力を注いでもらいたい。

◎中山間地域直接支払事業は、3期目に入り、8割交付から、10割交付への取組により（53協定）59,992千円で1,140万円の増額。

◎農地・水・環境保全向上対策事業は23年度が最終年となる。事業継続を望みたい。

◎県営圃場整備事業は、中山間地域総合整備事業負担金、912万円の計上、この事業、東校区の23年度採択を望みたい。

◎林業振興費では、作業道、間伐関係で多くの事業があり森林事業は、将来的に多くの雇用を産む事業である。取り組み強化を願うところである。

◎商工観光費では、商工会補助金が200万円減額され、同額を観光協会補助金として計上されている。